

2023年度第2四半期 決算説明資料

2023年11月7日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2023年度 上期実績

- 前年同期比では、「住宅」が堅調に推移したが、「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」の医薬・医療事業における費用増加や買収影響などを受け、減益
- 前回予想（8月発表）を上回る着地。**「マテリアル」や「住宅」を中心に営業活動の強化や費用削減などの取り組みが実を結び、**全セグメントで想定以上に業績が進捗**

2023年度 通期予想

- 全セグメントにおいて前期比で増益を見込む。**「マテリアル」において厳しい経営環境を想定するが、営業活動の強化等により成長牽引事業を中心に業績が改善することや、前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費減少の効果、「ヘルスケア」でクリティカルケア事業が堅調に推移すること等を見込む
- 引き続き、原燃料コストの価格転嫁、製造原価低減に加え、在庫圧縮や販管費削減など収益体質の強化に取り組む。2023年7月に開始した生産性向上プロジェクトにて下期の販管費増加を抑制
- 事業ポートフォリオにおいて、構造転換の検討を加速させるとともに、投資の着実な刈り取りや採算性の精査を徹底した上で、成長牽引事業の投資を進める

株主還元

- 株主還元方針に従い、中間配当は18円とし、年間配当は36円を予想（変更なし）

中計の 取り組みの進捗

- ハイポア（リチウムイオン電池用湿式セパレータ）の米国、日本、韓国における塗工能力増強を決定

1. 2023年度上期実績

売上高は、「住宅」、「ヘルスケア」が堅調に推移したが、「マテリアル」で中国を中心とした想定以上の需要減速や市況下落の影響を受けて、前年同期並み。前回予想（8月発表）に対しても想定並みの結果となった

営業利益は、「住宅」が堅調に推移したが、「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」が医薬・医療事業において費用増加や買収影響などを受け、前年同期比で減益。ただし、前回予想を上回る結果となった

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減益に加え、持分法投資損益の悪化などにより、前年同期比で減益

		2022年度上期	2023年度上期	増減額	増減率	2023年度上期 前回予想 (2023年8月発表)	増減額	増減率
売上高	(億円)	13,512	13,459	-53	-0.4%	13,450	9	0.1%
営業利益	(億円)	858	559	-299	-34.9%	460	99	21.5%
売上高営業利益率		6.4%	4.2%			3.4%		
のれん償却前営業利益	(億円)	1,039	703	-336	-32.3%			
EBITDA	(億円)	1,707	1,447	-260	-15.3%			
売上高EBITDA率		12.6%	10.7%					
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円)	517	308	-209	-40.4%	220	88	40.2%

相場平均為替レート（USDドル）

134円

141円

139円

相場平均為替レート（ユーロ）

139円

153円

150円

国産ナフサ価格

83,800円/kl

65,600円/kl

63,800円/kl

1株当たり配当金

18円

18円

18円

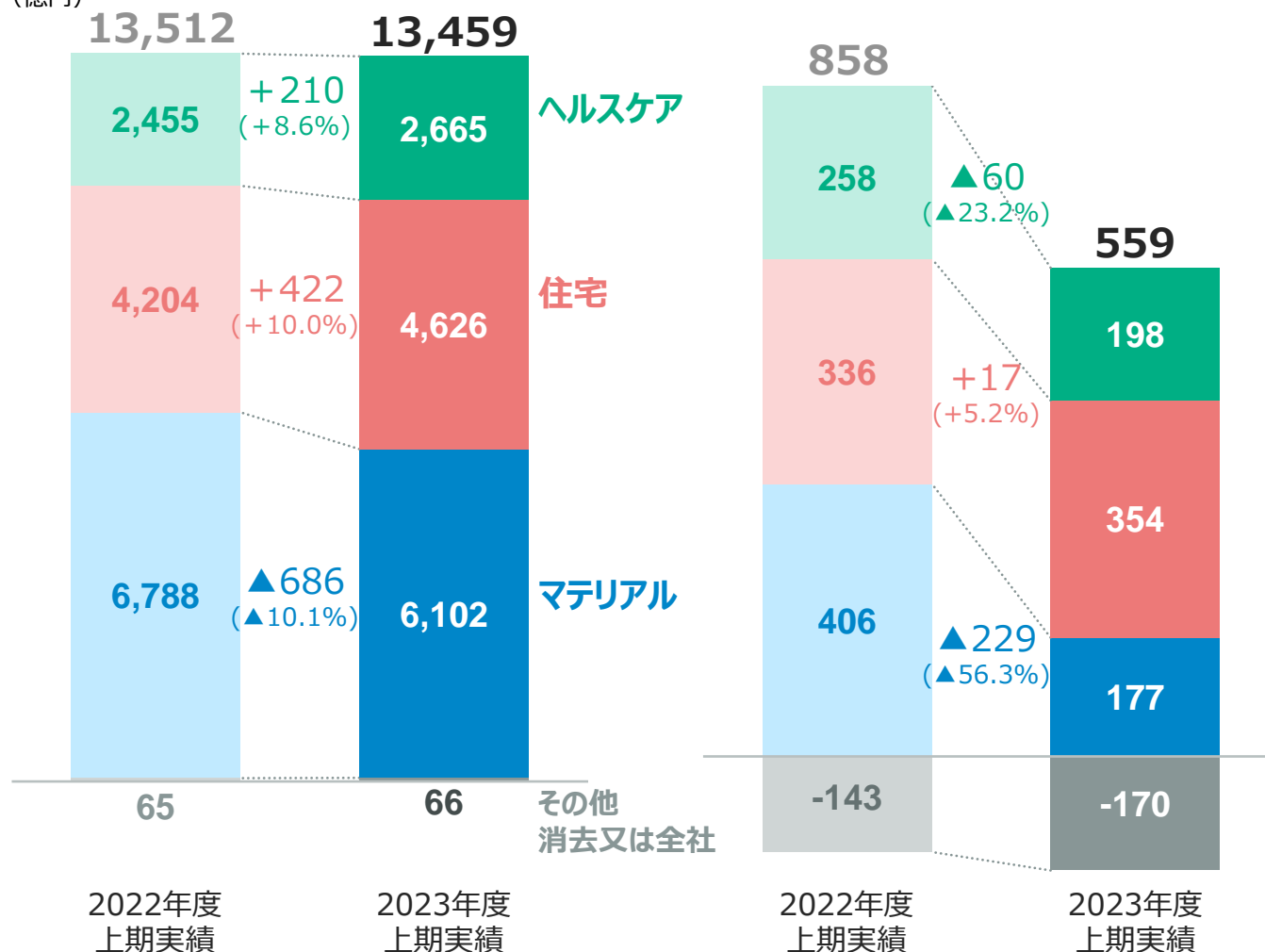
売上高 前年同期比

▲53億円（▲0.4%）

営業利益 前年同期比

▲299億円（▲34.9%）

（億円）



ヘルスケア

増収・減益

- ・ 医薬・医療事業は、活動強化に伴う販管費の増加やBionovaの新規連結に伴うマイナス要因などにより、減益
- ・ クリティカルケア事業は、LifeVestの保険償還状況の改善や除細動器の販売価格の上昇、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量の増加により、増益

住宅

増収・増益

- ・ 住宅事業は、建築請負部門が数量減少により減益となったが、不動産部門などが好調に推移し、利益は前年同期並み
- ・ 建材事業は価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

減収・減益

- ・ 基盤マテリアル事業は、需要減速による販売量の減少や市況下落による在庫受払差などにより、減益
- ・ ライフイノベーション事業は、需要減速による販売量の減少により、減益

2023年度上期実績（セグメント別、前回（8月発表）予想比）

売上高 前回予想比

+9億円（+0.1%）

営業利益 前回予想比

+99億円（+21.5%）

ヘルスケア

売上高・営業利益 上振れ

- クリティカルケア事業において、LifeVestの堅調な推移や為替影響等により、上振れ

住宅

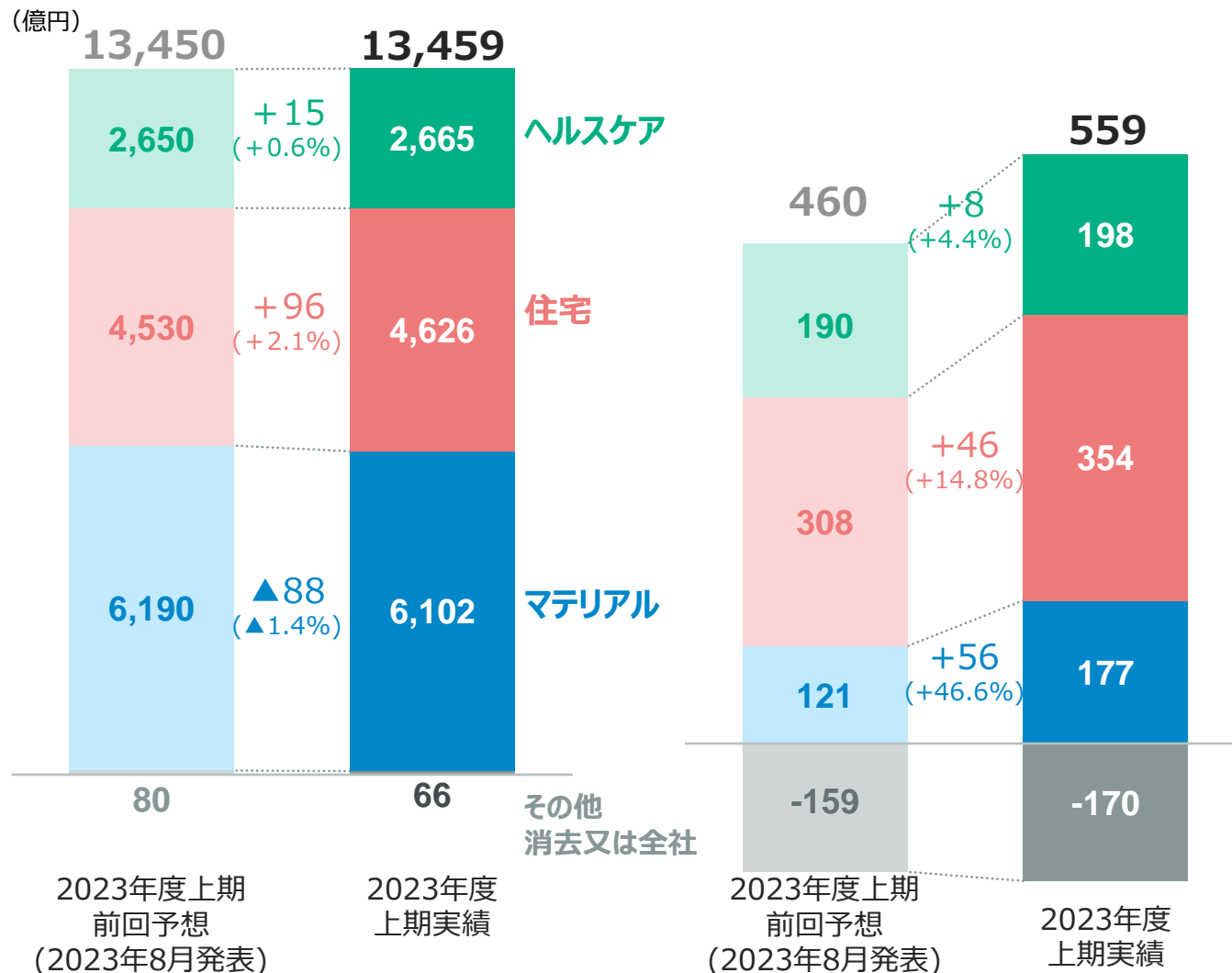
売上高・営業利益 上振れ

- 建築請負部門において、想定より工事が進捗したことや固定費削減により、上振れ

マテリアル

売上高 下振れ・営業利益 上振れ

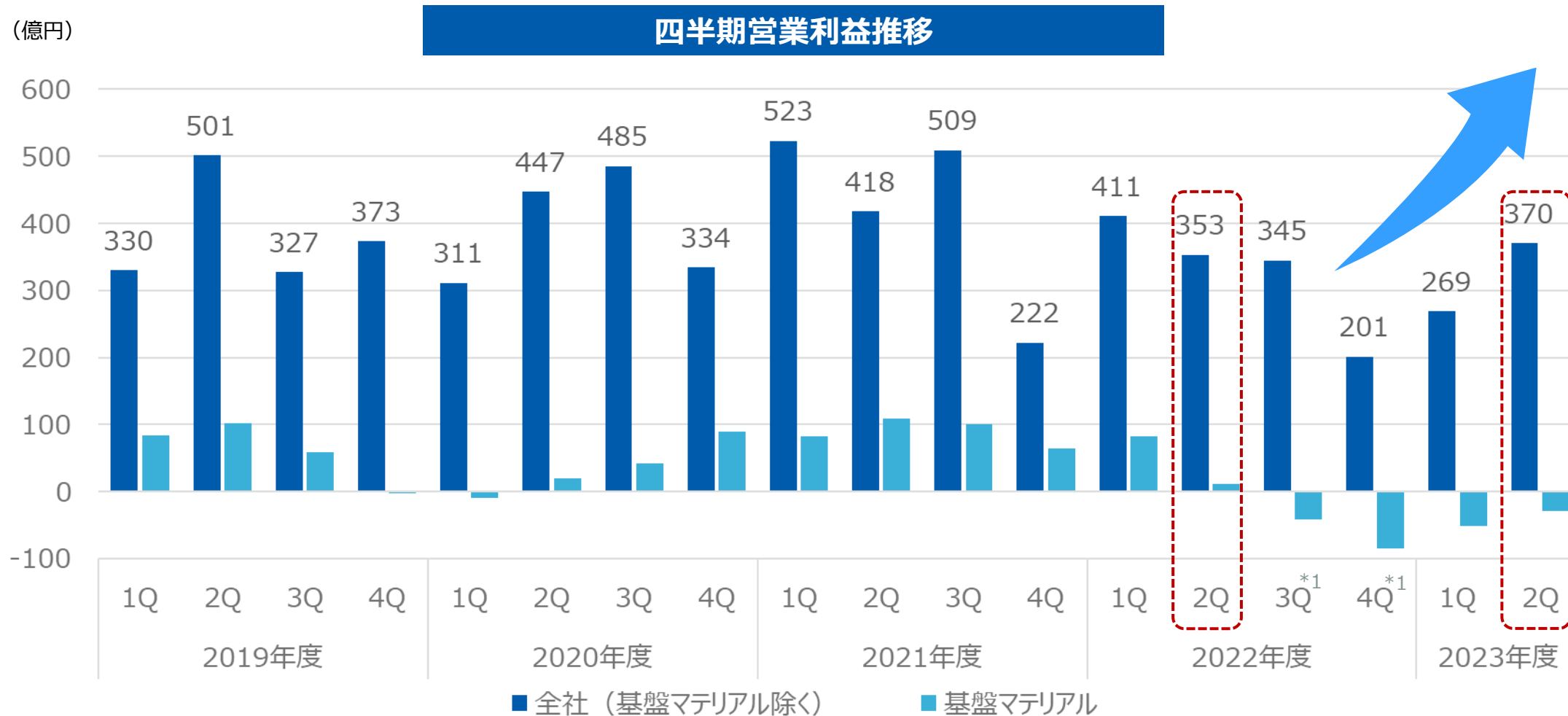
- モビリティ&インダストリアル事業において、自動車内装材やエンジニアリング樹脂の販売が想定以上に進捗し、交易条件も改善したことから、利益は上振れ
- 基盤マテリアル事業において、市況上昇に伴う在庫受払差などにより、利益は上振れ



2023年度上期実績（四半期営業利益推移）

営業活動の強化や費用削減の取り組み等が奏功し、2022年度第4四半期を底に業績は回復傾向

厳しい経営環境が継続している基盤マテリアル事業を除くと、2023年度第2四半期は前年同期比で増益を達成



*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

前年同期比の
主な増減要因

販管費

円安により海外子会社の販管費の換算額が増加した他、新規連結因などにより増加

営業外損益

PTT旭ケミカルの収益悪化等により持分法投資損益が悪化

特別損益

前年同期の火災損失影響が無くなったことや、ペリクルの事業譲渡益等により利益を計上

(億円)

	2022年度上期		2023年度上期		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	13,512	100.0%	13,459	100.0%	-53	-0.4%
売上原価	9,484	70.2%	9,567	71.1%	83	0.9%
売上総利益	4,028	29.8%	3,892	28.9%	-136	-3.4%
販管費	3,170	23.5%	3,333	24.8%	163	5.2%
営業利益	858	6.4%	559	4.2%	-299	-34.9%
営業外損益	6		-38		-44	
(内、持分法投資損益)	(23)		(-0)		(-23)	
経常利益	864	6.4%	520	3.9%	-343	-39.8%
特別損益	-57		19		76	
税前利益	807	6.0%	540	4.0%	-268	-33.1%
法人税等	-283		-216		67	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-7		-15		-8	
親会社株主に帰属する四半期純利益	517	3.8%	308	2.3%	-209	-40.4%

前年同期の火災損失影響が無くなったことや、ペリクルの事業譲渡益等により利益を計上

(億円)

	2022年度上期	2023年度上期	増減額
投資有価証券売却益	22	39	17
固定資産売却益	10	2	-8
受取保険金	18	20	2
事業譲渡益	-	30	30
特別利益	50	90	40
投資有価証券評価損	14	5	-10
固定資産処分損	33	31	-2
減損損失	0	0	-0
火災損失	41	-	-41
事業構造改善費用	19	36	17
特別損失	107	71	-36
特別損益	-57	19	76

総資産	円安に伴い海外子会社の資産が増加
負債	円安に伴い海外子会社の負債が増加
純資産	円安に伴いその他の包括利益累計額が増加

	(億円)		
	2023/3月末	2023/9月末	増減額
流動資産	14,882	15,393	511
現金及び預金	2,512	2,793	281
受取手形、売掛金及び契約資産	4,427	4,768	341
棚卸資産	6,426	6,643	217
その他	1,518	1,191	-327
固定資産	19,657	20,791	1,134
有形固定資産	8,717	9,174	457
無形固定資産 ^{*1}	7,362	7,809	447
投資その他の資産	3,578	3,808	230
資産合計	34,539	36,184	1,645
負債	17,585	17,708	123
流動負債	9,122	8,958	-163
支払手形及び買掛金	1,806	1,977	171
その他	7,316	6,981	-335
固定負債	8,464	8,750	286
純資産	16,954	18,476	1,522
株主資本	13,175	13,239	64
資本金	1,034	1,034	-
資本剰余金	798	803	4
利益剰余金 ^{*1}	11,417	11,475	59
自己株式	-74	-73	1
その他の包括利益累計額	3,428	4,871	1,443
非支配株主持分	351	366	15
負債純資産合計	34,539	36,184	1,645
のれん残高 ^{*1}	3,486	3,747	262
有利子負債 ^{*2}	9,395	9,323	-72
D/Eレシオ	0.57	0.51	-0.05

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2023年3月末の連結貸借対照表に計上した金額を遡及修正している。

*2 リース債務除く。

営業CF

税金等調整前四半期純利益が減少したものの、在庫圧縮に努めたこと等による運転資金需要や法人税支払いの減少等があり、キャッシュ・インに転じた

投資CF

前年同期のBionova買収の影響が無くなったことからキャッシュ・アウトが減少

財務CF

有利子負債の返済等によりキャッシュ・アウトに転じた

	(億円)		
	2022年度上期	2023年度上期	増減額
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	-37	1,339	1,376
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,312	-876	437
設備投資による支出	-861	-935	-73
M&A関連による支出	-424	-	424
その他	-28	59	87
c. フリー・キャッシュ・フロー (a+b)	-1,349	464	1,813
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,063	-431	-1,494
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	268	244	-24
現金及び現金同等物の増減額 (c+d+e)	-18	277	295

2. 2023年度通期予想

全セグメントにおいて前期比で増益を見込む。「マテリアル」において厳しい経営環境を想定するが、営業活動の強化等により成長牽引事業を中心に業績が改善することや、前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費減少の効果、「ヘルスケア」でクリティカルケア事業が堅調に推移すること等を見込む

親会社株主に帰属する当期純利益は前期のPolyporeの減損損失によるマイナスから大幅に改善

		2022年度 ^{*1}			2023年度		2023年度 当初予想 (2023年5月発表)	増減額	増減率	
		上期	下期 ^{*1}	2022年度 ^{*1}	上期	下期予想				
売上高	(億円)	13,512	13,753	27,265	13,459	14,761	28,220	955	3.5%	28,650
営業利益	(億円)	858	419	1,277	559	841	1,400	123	9.6%	1,600
売上高営業利益率		6.4%	3.0%	4.7%	4.2%	5.7%	5.0%			5.6%
のれん償却前営業利益	(億円)	1,039	615	1,654	703	987	1,690	36	2.2%	1,880
EBITDA	(億円)	1,707	1,343	3,050	1,447	1,763	3,210	160	5.2%	3,370
売上高EBITDA率		12.6%	9.8%	11.2%	10.7%	11.9%	11.4%			11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	517	-1,437	-919	308	542	850	1,769		1,000
EPS	(円)	37.28	-103.58	-66.30	22.25	39.07	61.32	127.62		72.15
のれん償却前EPS	(円)	50.33	-89.44	-39.12	32.68	49.57	82.24	121.36		92.35
相場平均為替レート (USD/円)		134円	137円	135円	141円	145円	143円			130円
相場平均為替レート (ユーロ/円)		139円	143円	141円	153円	155円	154円			135円
国産ナフサ価格		83,800円/kl	69,500円/kl	76,700円/kl	65,600円/kl	74,000円/kl	69,800円/kl			68,000円/kl
1株当たり配当金		18円	18円	36円	18円	18円	36円			36円
						(予想)	(予想)			(予想)

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

2023年度通期予想（セグメント別、前期比）

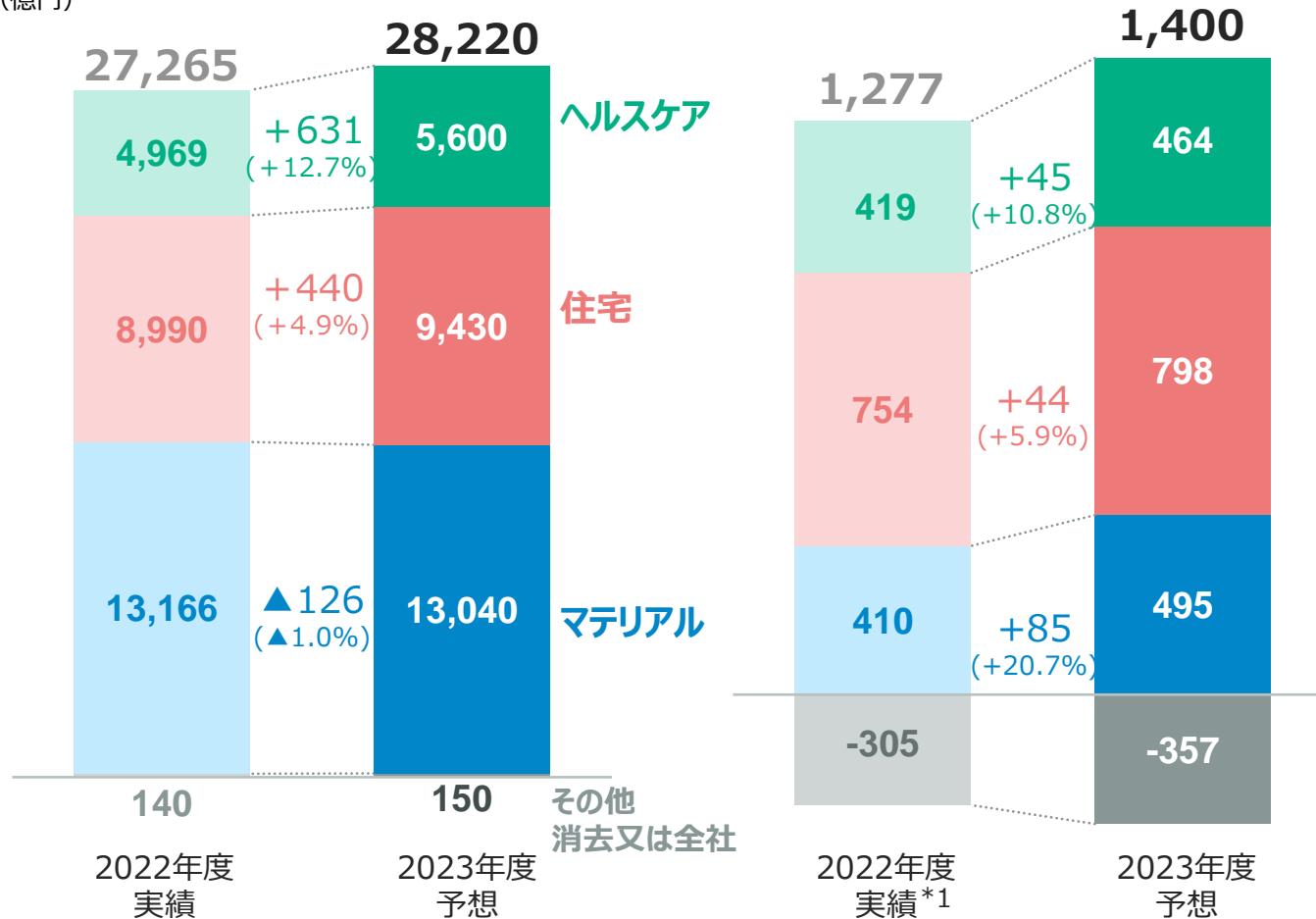
売上高 前期比

+955億円（+3.5%）

営業利益 前期比

+123億円（+9.6%）

（億円）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ 医薬・医療事業は、販管費の増加やライセンス収入の減少、原燃料価格の上昇により、減益
- ・ クリティカルケア事業は、LifeVestの保険償還状況の改善や除細動器の販売価格の上昇、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量の増加等により、増益

住宅

増収・増益

- ・ 住宅事業は、建築請負部門が数量減少と資材費高騰影響により減益を予想するが、不動産部門や海外事業部門が伸長し、増益
- ・ 建材事業は、価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

減収・増益

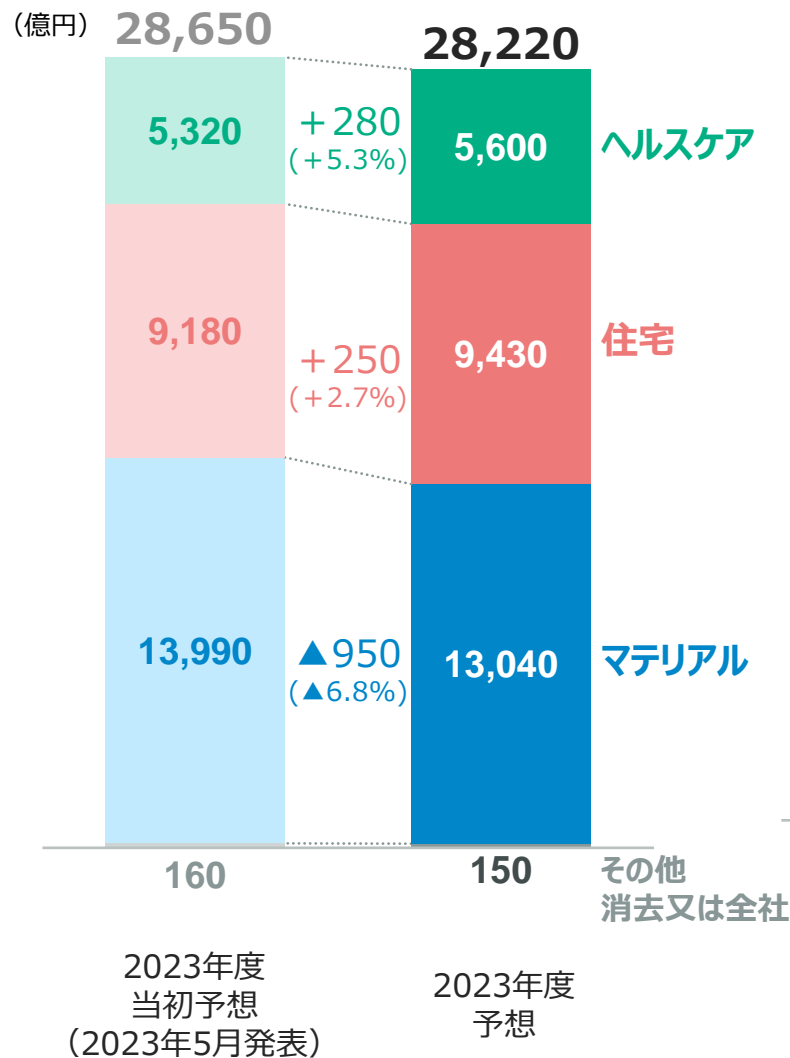
- ・ 環境ソリューション事業は、セパレータの販売量増加や前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少などにより、増益
- ・ デジタルソリューション事業は、下期に電子部品、電子材料ともに需要の改善や新規の採用拡大を見込み、増益

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

2023年度通期予想 (セグメント別、当初 (5月発表) 予想比)

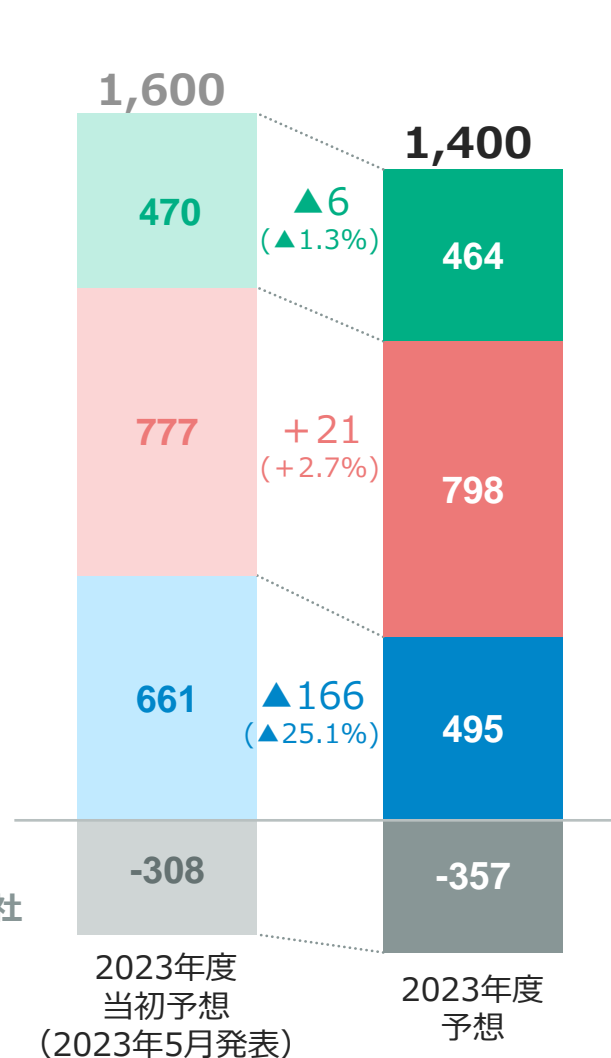
売上高 当初予想比

▲430億円 (▲1.5%)



営業利益 当初予想比

▲200億円 (▲12.5%)



ヘルスケア

売上高 上方修正・営業利益 想定並み

- 医療事業は、Bionovaの顧客側でのプロジェクト遅延の影響等により、利益を下方修正
- クリティカルケア事業は、部材調達難の改善が想定以上に進みAEDを中心に出荷が堅調に推移することなどから、利益を上方修正

住宅

売上高・営業利益 上方修正

- 住宅事業は、建築請負部門の業績が想定をやや下回るものの、不動産部門が好調に推移し、利益を上方修正
- 建材事業は価格転嫁の進捗を受け、利益を上方修正

マテリアル

売上高・営業利益 下方修正

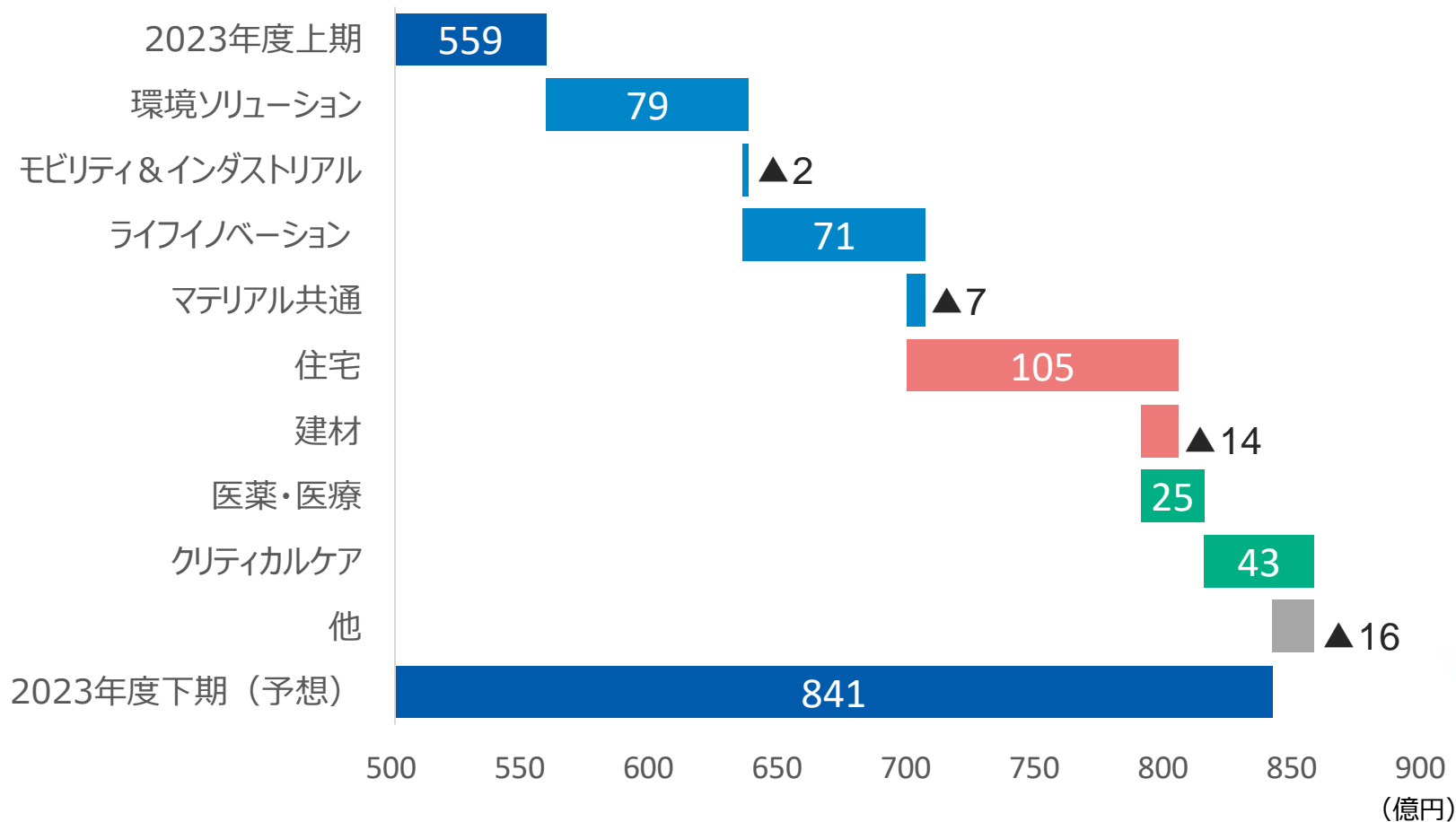
- 基盤マテリアル事業は、想定以上の需要減速による販売量の減少や市況下落による交易条件の悪化等により、利益を下方修正
- モビリティ&インダストリアル事業は、自動車内装材の販売が想定以上に進捗し、利益を上方修正

2023年度通期予想（上期から下期の営業利益の変動）

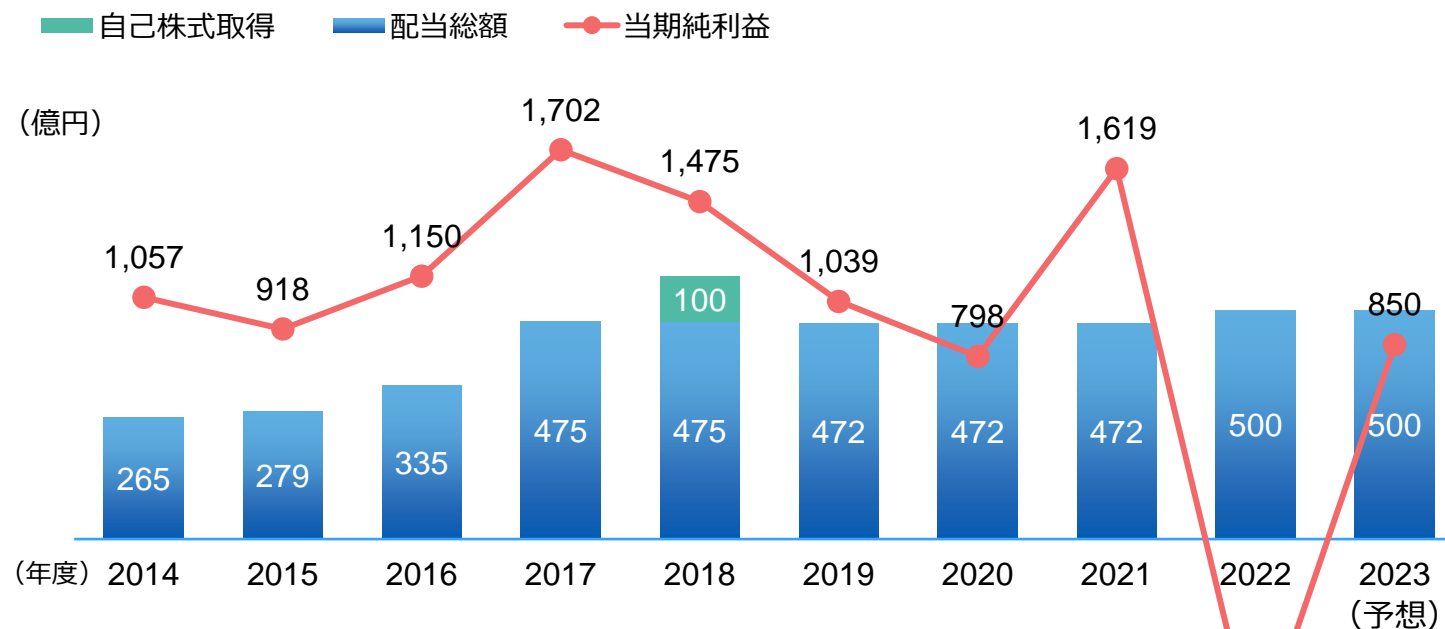
成長牽引事業を中心とした営業活動の強化等により業績改善を見込む（詳細は「3. セグメント別詳細」に記載）

上期から下期の営業利益の変動

マテリアル +140 億円	デジタルソリューション事業等における製品採用に向けた営業活動の効果や、基盤マテリアル事業の上期の定修影響がなくなることを見込む
住宅 +91 億円	建築請負部門の季節因や、不動産部門の分譲マンション販売戸数の増加を見込む
ヘルスケア +67 億円	各事業において、主力製品の販売増を見込む
全社合計 +282 億円	



株主還元方針に従い、中間配当は18円とし、年間配当は36円を予想（変更なし）



配当性向	25.1%	30.4%	29.1%	27.9%	32.2%	45.4%	59.1%	29.1%	—	58.7%
1株当たり配当金(円)	19	20	24	34	34	34	34	34	36	36

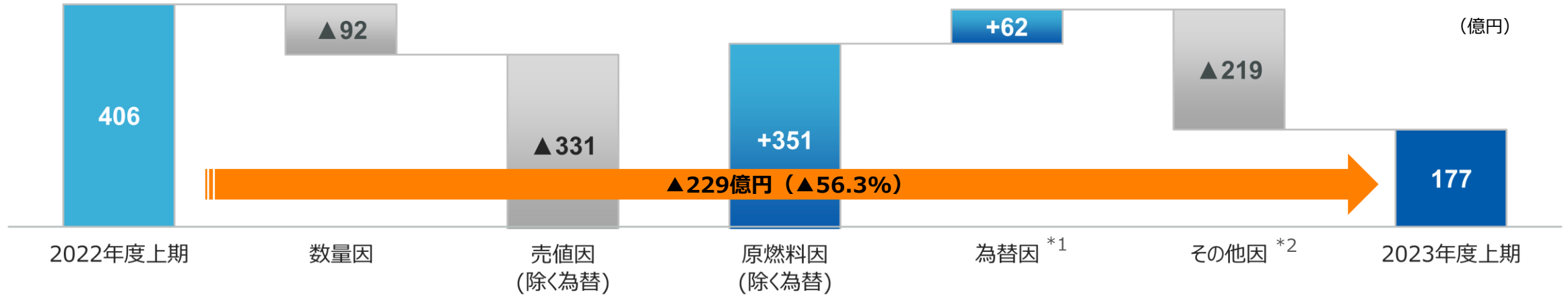
株主還元方針

- 1 中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する
- 2 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 3 配当性向30～40%（中計3年間累計）を目安とし、配当水準の安定的向上を図る
- 4 自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して検討・実施する

3. セグメント別詳細

市況下落による売値因のマイナスを原燃料価格の低下による原燃料因や円安による為替因のプラスでカバーし交易条件は改善したが、需要減速による数量因やその他因（在庫影響、操業度等）のマイナスにより減益

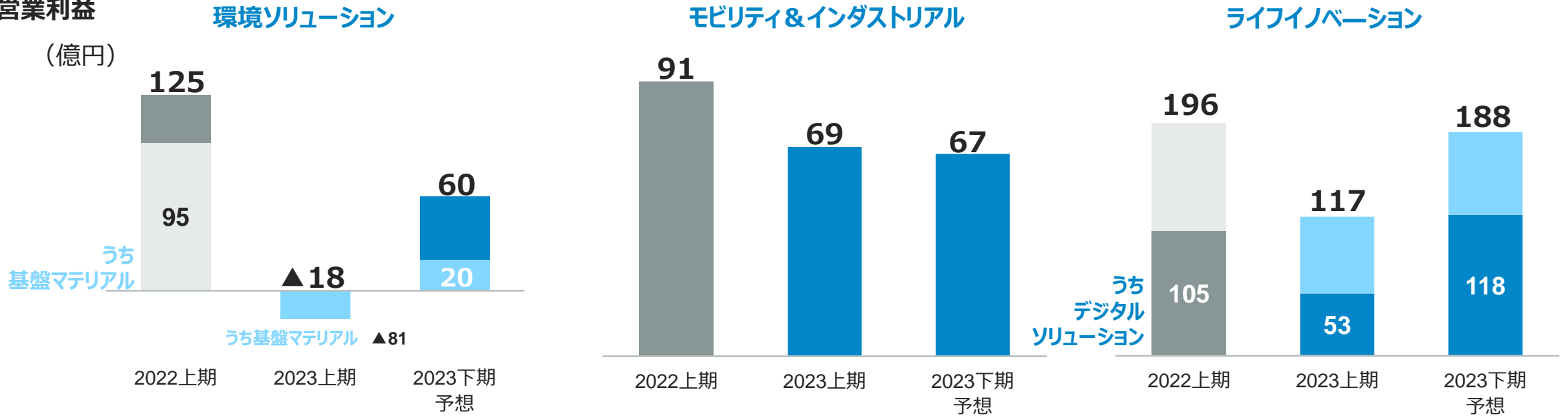
■ 営業利益要因分析



	売上高				営業利益									
	2022年度上期	2023年度上期	増減額	増減率	2022年度上期	2023年度上期	増減額	増減率	内訳					
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}	
マテリアルセグメント	6,788	6,102	-686	-10.1%	406	177	-229	-56.3%	-92	-331	351	62	-219	
環境ソリューション事業	2,913	2,347	-565	-19.4%	125	-18	-143	-	-44	-281	194	20	-32 ^{*3}	
うち 基盤マテリアル事業	1,874	1,383	-490	-26.2%	95	-81	-175	-						
モビリティ&インダストリアル事業	1,921	1,877	-44	-2.3%	91	69	-22	-23.7%	20	-88	86	22	-62	
ライフインノベーション事業	1,952	1,875	-76	-3.9%	196	117	-79	-40.3%	-68	38	-9	20	-60	
うち デジタルソリューション事業	665	610	-55	-8.2%	105	53	-53	-50.1%						
マテリアル共通	3	3	-1	-17.8%	-6	10	15	-	-	-	80 ^{*3}	-	-65	

*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで合せて表示している

■ 営業利益



主な事業		2023年度上期 vs 2022年度上期 (YoY)		2023年度下期予想 vs 2023年度上期	
環境ソリューション	セパレータ	➡	操業度低下の影響があった一方、車載用途の販売量が増加したことや前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少により、増益	➡	新規採用等に伴い車載用途中心に販売量が増加する一方、構成差や経時的な価格下落などにより横ばいを見込む
	基盤マテリアル	➡	需要が低迷したことを背景とした販売量の減少や在庫受払差、定修影響等により、減益	➡	上期の定修影響がなくなることや販売量の増加を見込むこと、マージン改善施策などにより増益を見込む
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	➡	自動車減産影響の改善や能力増強を受けて販売量が増加したことに加えて、交易条件の改善により、増益	➡	上期が好調であった一方、下期の不需要期の影響や北米の自動車労働組合のストの影響などにより減益を見込む
	エンジニアリング樹脂	➡	自動車用途の販売が堅調に推移し、販売量は前年同期並みだが、在庫受払差や生産調整による操業度低下などの影響により、減益	➡	自動車用途や太陽電池用途の販売量が増加すること等により増益を見込む
ライフィノベーション	デジタルソリューション	➡	電子機器・半導体市場の需要減を背景とした販売量の減少等により、減益	➡	電子機器・半導体市場の需要改善を背景とした販売量の増加や、製品採用に向けた営業活動の効果等により、増益を見込む

(億円)

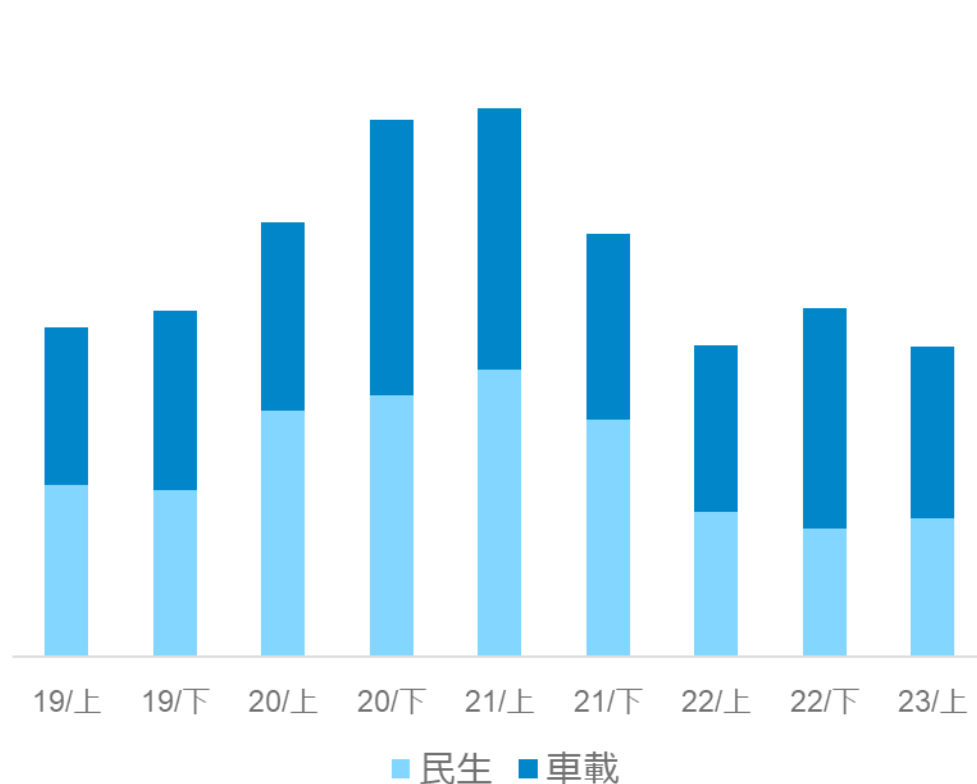
売上高	2022年度			2023年度 予想			前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 - 上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
マテリアルセグメント	6,788	6,378	13,166	6,102	6,938	13,040	-126	-1.0%	836	13,990
環境ソリューション事業	2,913	2,686	5,598	2,347	2,873	5,220	-378	-6.8%	526	6,130
うち 基盤マテリアル事業	1,874	1,745	3,619	1,383	1,757	3,140	-479	-13.2%	373	3,980
モビリティ&インダストリアル事業	1,921	1,863	3,784	1,877	1,973	3,850	66	1.7%	95	3,790
ライフイノベーション事業	1,952	1,826	3,777	1,875	2,085	3,960	183	4.8%	210	4,070
うち デジタルソリューション事業	665	560	1,225	610	750	1,360	135	11.1%	139	1,390
マテリアル共通	3	4	7	3	7	10	3	50.0%	5	-

営業利益	2022年度			2023年度 予想			前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 - 上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
マテリアルセグメント	406	4	410	177	318	495	85	20.7%	140	661
環境ソリューション事業	125	-148	-23	-18	60	42	65	-	79	164
うち 基盤マテリアル事業	95	-127	-32	-81	20	-61	-29	-	100	31
モビリティ&インダストリアル事業	91	17	108	69	67	136	28	25.8%	-2	123
ライフイノベーション事業	196	82	278	117	188	305	27	9.6%	71	305
うち デジタルソリューション事業	105	37	142	53	118	171	29	20.2%	66	198
マテリアル共通	-6	52	46	10	2	12	-34	-74.1%	-7	69

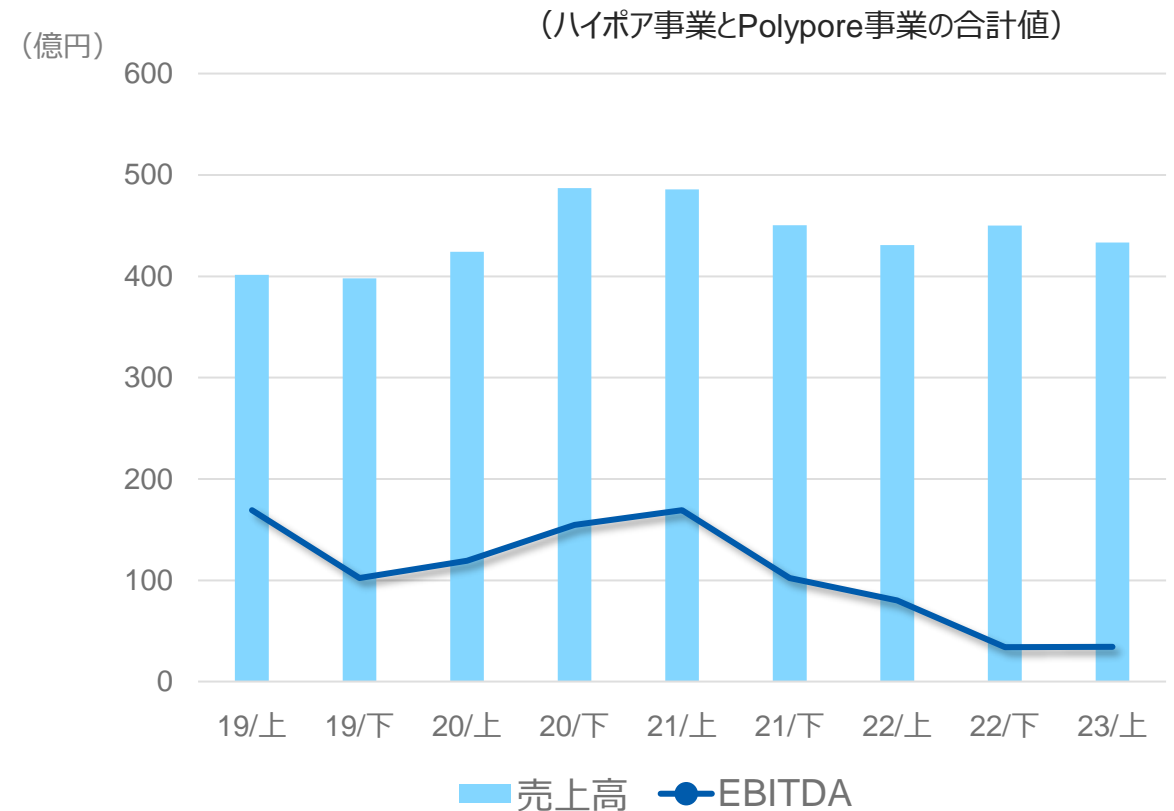
ハイポア（LIB用湿式セパレータ）は市場の成長に合わせて事業拡大してきたが、2021年度下期より自動車減産の影響による車載用途の需要減少や中国の景気後退を背景とした民生用途の需要減少により、販売量が減少。2023年度は需要の改善を見込む

販売量の減少や操業度の低下によりEBITDAも低下。2023年度以降、販売量の増加や操業度の上昇などによる改善を見込む

ハイポアの販売量推移

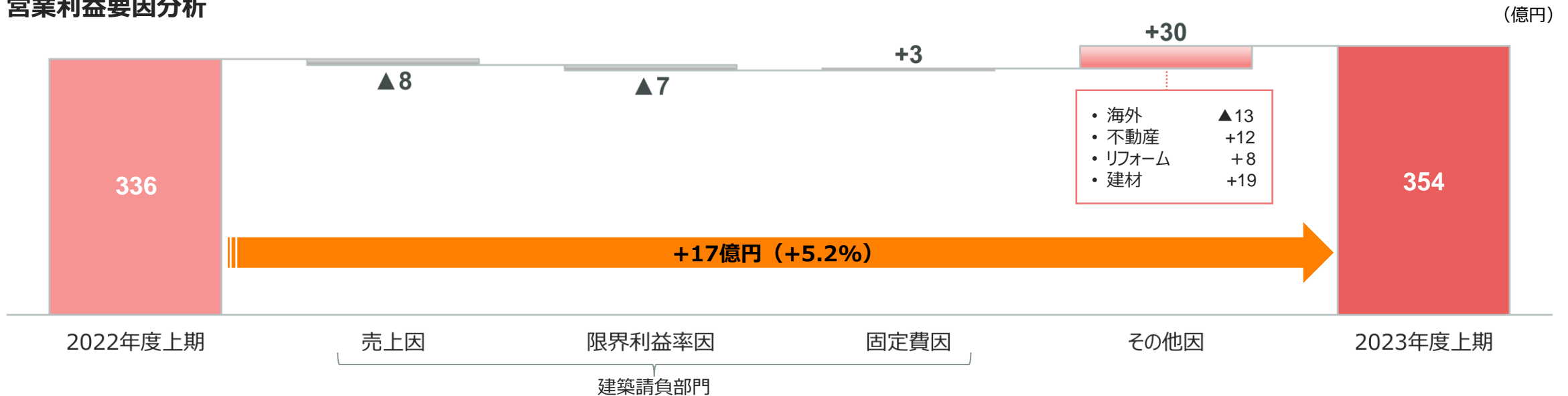


セパレータ事業の業績推移



建築請負部門の数量減少による売上因のマイナスや、資材高騰の影響による限界利益率因のマイナスの影響があった一方、不動産部門やリフォーム部門等が順調に推移したことにより、増益

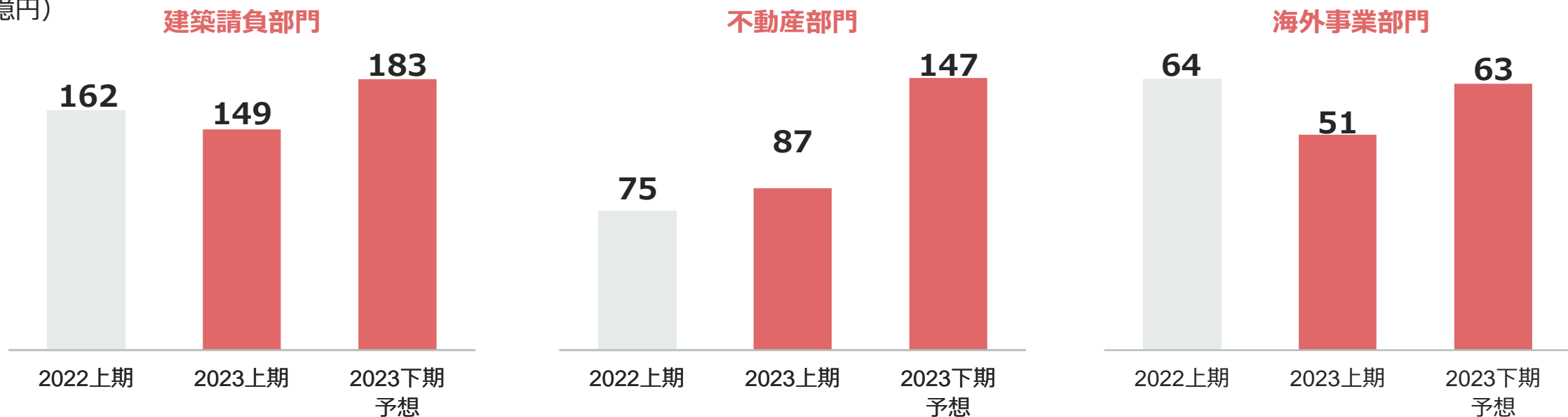
■ 営業利益要因分析



	売上高				営業利益							
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	増減率	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
売上因	限界利益率因	固定費因										
住宅セグメント	4,204	4,626	422	10.0%	336	354	17	5.2%	-8	-7	3	30
住宅事業	4,010	4,406	396	9.9%	329	327	-2	-0.5%	-8	-7	3	11 ^{*1}
建材事業	194	220	26	13.2%	7	26	19	262.1%	-	-	-	19

*1 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益
(億円)



主な事業		2023年度上期 vs 2022年度上期 (YoY)		2023年度下期予想 vs 2023年度上期	
住宅	建築請負部門	↓	物件の大型化・高付加価値化による平均販売単価の上昇が進んだが、数量減少と資材価格高騰の影響により、減益	↗	季節因により数量が増加するため、増益を見込む
	不動産部門	↗	賃貸管理事業の管理戸数が堅調に推移した他、分譲マンションの販売物件の構成差により、増益	↗	賃貸管理事業が堅調に推移する他、下期の大型分譲マンションの販売等による販売戸数の増加により、増益を見込む
	海外事業部門	↓	豪州事業は数量の増加や資材価格高騰を受けた価格転嫁の進捗により、増益。一方、北米事業は、数量の減少に加え、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前年同期に対して利益率が悪化し、減益	↗	北米事業は、上期のビルダーによる着工調整の影響が改善し、数量が増加することから増益を見込む

売上高	2022年度		2022年度	2023年度		2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 －上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
住宅セグメント	4,204	4,785	8,990	4,626	4,804	9,430	440	4.9%	177	9,180
住宅事業	4,010	4,582	8,592	4,406	4,594	9,000	408	4.7%	187	8,750
建築請負部門	1,966	2,141	4,107	1,956	2,044	4,000	-107	-2.6%	88	4,040
不動産部門	811	1,084	1,895	871	1,129	2,000	105	5.5%	259	2,000
リフォーム部門	261	283	544	279	291	570	26	4.8%	11	590
海外事業部門	968	1,066	2,034	1,294	1,106	2,400	366	18.0%	-189	2,100
その他	4	8	12	6	24	30	18	155.6%	18	20
建材事業	194	203	397	220	210	430	33	8.2%	-10	430

営業利益	2022年度 ^{*1}		2022年度 ^{*1}	2023年度		2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 －上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期 ^{*1}	下期予想					
住宅セグメント	336	418	754	354	444	798	44	5.9%	91	777
住宅事業	329	410	739	327	433	760	21	2.8%	105	755
建築請負部門	162	208	370	149	183	332	-38	-10.2%	34	341
不動産部門	75	142	217	87	147	234	17	8.0%	59	228
リフォーム部門	25	33	58	32	34	66	8	14.4%	1	66
海外事業部門	64	21	86	51	63	114	28	33.1%	12	114
その他	3	6	9	8	6	14	5	51.6%	-1	6
建材事業	7	7	15	26	12	38	23	158.8%	-14	22

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

建築請負部門の受注高は、第1四半期は前年同期比でマイナスとなったものの、第2四半期は新たなマーケティング施策が進捗し、プラスとなった。下期も引き続き物件の大型化・高付加価値化を推進し、通期で前期比+5%のプラスを目指す

(単位：億円、()内は対前年同期比)

		建築請負部門						不動産部門		
		受注		売上高				売上高*1		
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計
2021年度	上期	2,063 (42.0%)	5,635	1,274	510	106	1,890	218	642	860
	下期	1,780 (-1.8%)	5,333	1,423	606	116	2,145	295	670	965
	通期	3,843 (17.7%)		2,697	1,116	222	4,035	513	1,312	1,825
2022年度	1Q	924 (1.3%)	5,468	630	271	49	951	78	340	417
	2Q	988 (-14.2%)	5,481	679	284	52	1,015	39	355	394
	上期	1,912 (-7.3%)		1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644 (-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556 (-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	1Q	772 (-16.4%)	5,090	551	324	66	942	36	367	403
	2Q	1,093 (10.7%)	5,250	586	369	59	1,014	91	377	468
	上期	1,865 (-2.4%)		1,137	693	125	1,956	127	744	871
	下期予想	1,868 (13.6%)	4,998				2,044	323	806	1,129
	通期予想	3,733 (5.0%)					4,000	450	1,550	2,000

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業等の売上高、「賃貸・仲介事業」に仲介事業と賃貸事業の売上高の合計値を表示するように変更している
(2021年度までの売上高を遡って修正)

2023年度上期実績

(右欄：前期比)

	受注高 (億円)		受注戸数 (戸)		引渡戸数 (戸) *2	
戸建系	1,157	-5.0%	2,523	-11.1%	2,777	-17.8%
集合系	708	2.2%	2,728	-8.4%	2,880	-4.3%
その他 (分譲)	-	-	-	-	16	33.3%
建築請負部門合計	1,865	-2.4%	5,251	-9.7%	5,673	-11.3%

2023年度通期予想

	受注高 (億円)		受注戸数 (戸)		引渡戸数 (戸) *2	
戸建系	2,233	-0.6%	4,820	-7.4%	5,990	-18.3%
集合系	1,500	14.6%	5,730	6.6%	6,840	2.9%
その他 (分譲)	-	-	-	-	40	21.2%
建築請負部門合計	3,733	5.0%	10,550	-0.3%	12,870	-8.2%

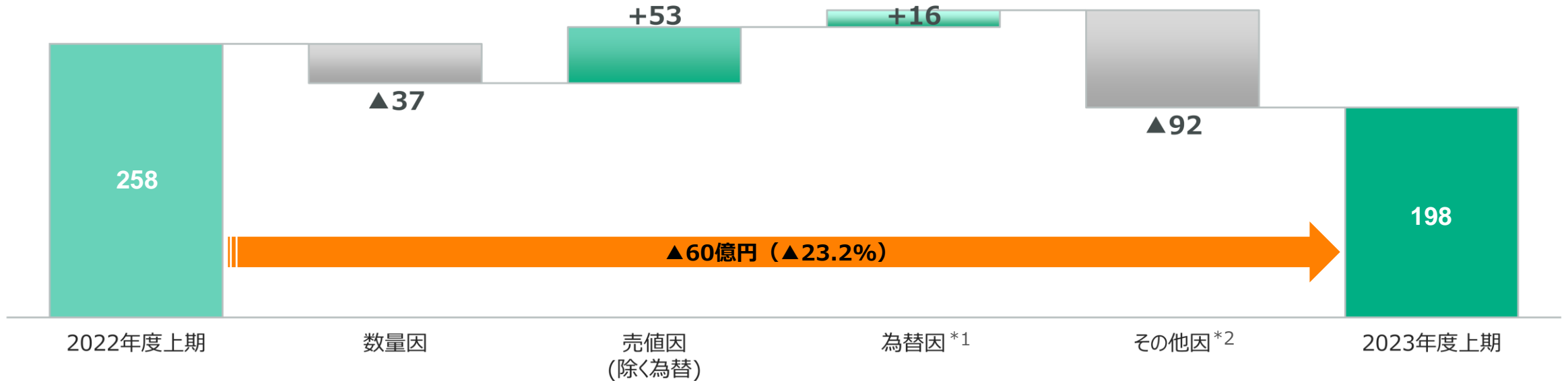
*1 受注高、受注戸数、引渡戸数、いずれも国内のみ。

*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。よって、「引渡戸数」は売上高に連動しない。

クリティカルケア事業では除細動器の価格転嫁進展による売値因のプラスが製品構成差による数量因のマイナスをカバーしたが、医薬・医療事業における販管費増加やBionova新規連結による減益影響等のその他因のマイナスが響き、減益

■ 営業利益要因分析

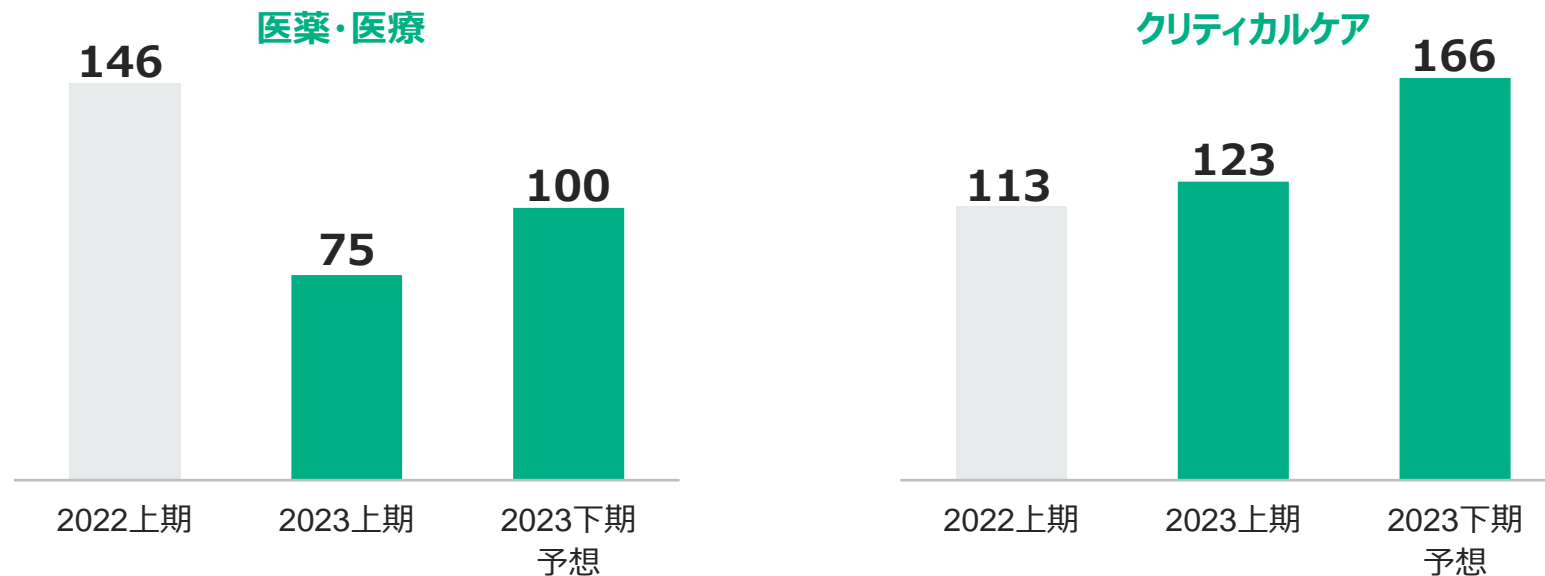
(億円)



	売上高				営業利益							
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	増減率	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
ヘルスケアセグメント	2,455	2,665	210	8.6%	258	198	-60	-23.2%	-37	53	16	-92
医薬・医療事業	989	1,009	19	2.0%	146	75	-70	-48.3%	-6	1	1	-66
クリティカルケア事業	1,466	1,657	191	13.0%	113	123	10	9.1%	-31	52	15	-25

*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス・導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 等

■ 営業利益
(億円)



主な事業		2023年度上期 vs 2022年度上期 (YoY)		2023年度下期予想 vs 2023年度上期	
医薬・医療	医薬		Envarsus XRの販売が順調に推移したが、新製剤の販売開始に伴う活動費や、研究開発費が増加し、減益		Envarsus XR等、主要製剤が順調に販売を伸ばし、増益を見込む
	医療		Bionovaの新規連結影響による減益影響に加え、プラノバが顧客の在庫調整による需要減退の影響を受けて、減益		プラノバの販売量が増加すること等により増益を見込む
クリティカルケア	LifeVest		保険償還状況の改善により、増益		営業人員補充に伴う活動強化により下期に掛けて増収を見込むが、販管費増加に伴い、微減益を見込む
	除細動器		価格転嫁の進展や、部材調達難の改善に伴いAEDの販売量が増加したことにより、増益		AEDを中心に販売量が増加することにより、増益を見込む

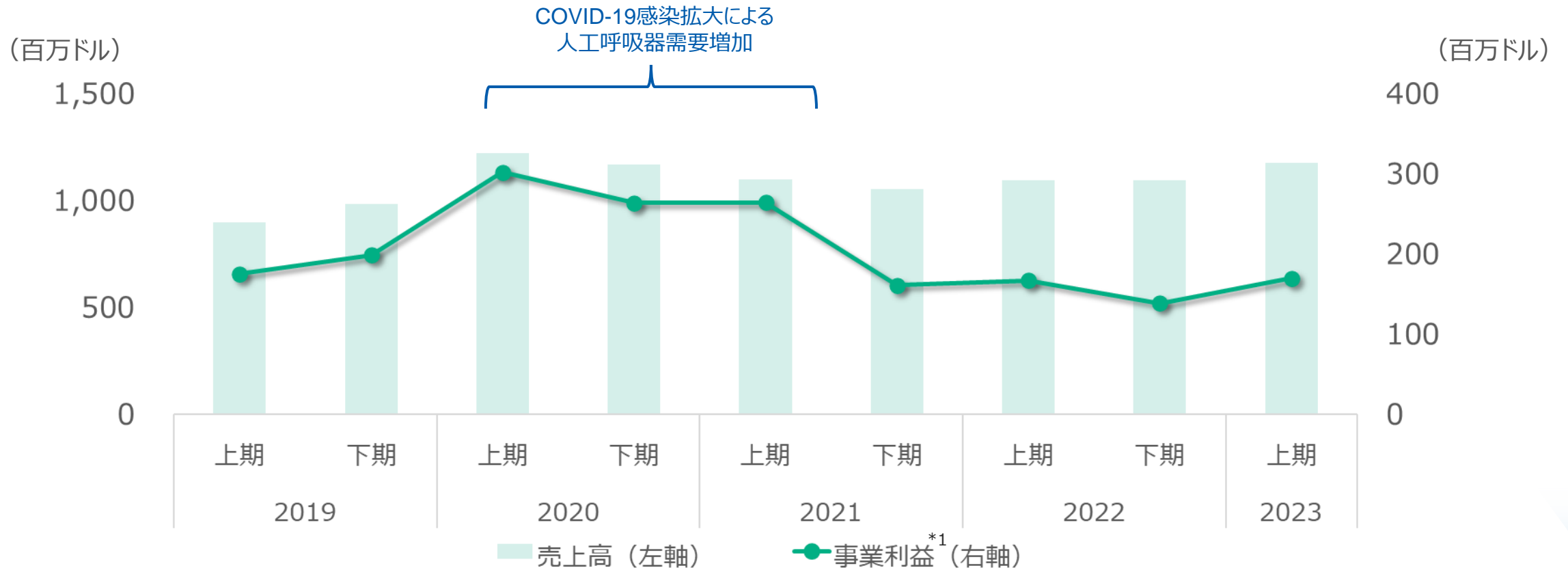
(億円)

売上高	2022年度		2022年度	2023年度		2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 - 上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
ヘルスケアセグメント	2,455	2,514	4,969	2,665	2,935	5,600	631	12.7%	270	5,320
医薬・医療事業	989	1,013	2,002	1,009	1,121	2,130	128	6.4%	113	2,180
医薬事業	536	564	1,100	563	617	1,180	80	7.3%	54	1,175
医療事業	453	449	902	445	505	950	48	5.3%	59	1,005
クリティカルケア事業	1,466	1,501	2,967	1,657	1,813	3,470	503	17.0%	157	3,140

営業利益	2022年度		2022年度	2023年度		2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 - 上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
ヘルスケアセグメント	258	160	419	198	266	464	45	10.8%	67	470
医薬・医療事業	146	84	229	75	100	175	-54	-23.6%	25	211
クリティカルケア事業	113	77	189	123	166	289	100	52.6%	43	259

EBITDA	2022年度		2022年度	2023年度		2023年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2023年度 下期予想 - 上期	(参考) 2023年度 当初予想 (2023年5月発表)
	上期	下期		上期	下期予想					
ヘルスケアセグメント	572	492	1,064	540	603	1,143	79	7.4%	63	1,115
医薬・医療事業	272	222	494	217	244	461	-33	-6.6%	27	489
クリティカルケア事業	300	270	570	323	358	681	112	19.6%	36	626

2021年度下期より部材調達難の影響を受けて除細動器の販売量の減少や調達コスト上昇があったことに加え、2022年度第3四半期には景気後退を受けて北米を中心に医療機関向け除細動器の受注が減少したこと等により利益が落ち込んだ。ただし、同第4四半期以降は部材調達難の解消に伴い業績の改善が進み、2023年度上期も堅調に推移



*1 「事業利益」は以下ののれん、無形固定資産等償却額を除く営業利益
 ・2012年4月の当社によるZOLL買収に伴う日本会計基準・米国会計基準に基づく償却額
 ・それ以降ZOLLが実施した買収に伴う日本会計基準に基づく償却額

(売上高の対象地域、単位)	2022年度		2023年度	上期 前年同期比	
	上期	年度	上期	増減額	増減率
<旭化成ファーマ>					
テリボン (国内、億円)	207	399	194	-13	-6.4%
リコモジュリン (")	42	84	41	-1	-1.8%
ケブザラ (")	45	93	54	9	19.8%
リクラスト (")	7	14	6	-0	-2.7%
プラケニル (")	27	54	29	2	7.9%
<Veloxis>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	88	186	107	19	21.1%

一般名		薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ (遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC (汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ (遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

		開発コード (一般名)	適応症	起源	開発	備考 (地域他)
国 内	販売開始 (FY23/1Q~)	AK1820 (イサブコナゾニウム硫酸塩)	アスペルギルス症・ムーコル症 クリプトコックス症	導入	自社	販売名「クレセンバ」
	申請中					剤型追加
	フェーズⅢ	TA799 (アプラグルチド)	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 (日米共同フェーズⅠ実施中)
	フェーズⅡ	AK-1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
フェーズⅡ	慢性腰痛症に伴う疼痛					
海 外	フェーズⅢ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国
	フェーズⅠ	AK1320	脊椎固定術	自社	自社	北米
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導 出 品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 (日中販売権は当社が保持)

4. 参考資料

(億円)

	2022年度上期		2023年度上期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率		
マテリアルセグメント	4,021	59.2%	3,727	61.1%	-295	-7.3%
環境ソリューション	1,586	54.5%	1,376	58.6%	-211	-13.3%
モビリティ&インダストリアル	1,562	81.3%	1,509	80.4%	-53	-3.4%
ライフイノベーション	869	44.5%	839	44.7%	-30	-3.5%
マテリアル共通	3	100.0%	3	98.4%	-1	-19.1%
住宅セグメント	968	23.0%	1,294	28.0%	326	33.7%
住宅	968	24.1%	1,294	29.4%	326	33.7%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	1,910	77.8%	2,127	79.8%	217	11.4%
医薬・医療	465	47.0%	494	49.0%	30	6.4%
クリティカルケア	1,445	98.6%	1,633	98.5%	187	13.0%
その他	5	8.1%	6	9.7%	1	21.4%
合 計	6,904	51.1%	7,154	53.2%	250	3.6%
地域別海外売上高						
アジア	2,769	20.5%	2,471	18.4%	-297	-10.7%
（内、中国）	1,281	9.5%	1,216	9.0%	-65	-5.1%
米州	2,546	18.8%	2,808	20.9%	261	10.3%
欧州	848	6.3%	925	6.9%	76	9.0%
その他海外	741	5.5%	950	7.1%	209	28.3%

設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*1}			研究開発費		
	2022年度	2023年度 上期	2023年度 予想	2022年度 ^{*2}	2023年度 上期	2023年度 予想	2022年度	2023年度 上期	2023年度 予想
マテリアルセグメント	1,065	550	1,300	721	351		418	213	
環境ソリューション	505	275		345	154		105	61	
モビリティ&インダストリアル	184	132		166	91		112	57	
ライフイノベーション	374	143		208	106		191	92	
マテリアル共通	2	0		1	0		10	3	
住宅セグメント	257	134	220	172	97		39	17	
住宅	232	120		148	85		33	14	
建材	25	13		24	11		6	2	
ヘルスケアセグメント	251	124	450	434	230		466	238	
医薬・医療	130	55		222	117		201	103	
クリティカルケア	121	68		212	112		265	135	
その他	6	6	10	8	5		1	1	
消去又は全社	169	49	190	65	62		126	54	
合 計	1,749	863	2,170	1,400	743	1,520	1,050	522	1,130

(参考) のれん償却額

373	145
-----	-----

*1 有形固定資産、無形固定資産（除く、のれん）の償却額を合算した金額で開示している。

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	設備投資件名 ^{*1}	完工／稼働 予定時期	能力	立地
マテリアル	環境ソリューション	水力発電所改修（水ヶ崎発電所）	2025年度上期	—	宮崎県西臼杵郡
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強	2024年度上期	約3.5億m ³ /年	宮崎県日向市
		リチウムイオン電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強	2024年度以降	約1.5億m ³ /年	米国ノースカロライナ州
ヘルスケア	医薬・医療	ウイルス除去フィルター「プラノバ」新組立工場建設	2023年度	—	宮崎県延岡市
		バイオ医薬品CDMOのBionovaの能力増強	2025年度	—	米国カリフォルニア州

*1 2023年度上期の工事中設備投資案件を記載

主なM&A案件（2022年4月以降）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	PL連結開始	買収金額	のれん発生額
住宅	住宅	Focus (Focus Plumbing LLC等5社)	北米における住宅の建築工事	2022年11月1日	362億円	128億円
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造受託、次世代抗体医薬品GMP製造受託	2022年7月1日	429億円	355億円

(億円)

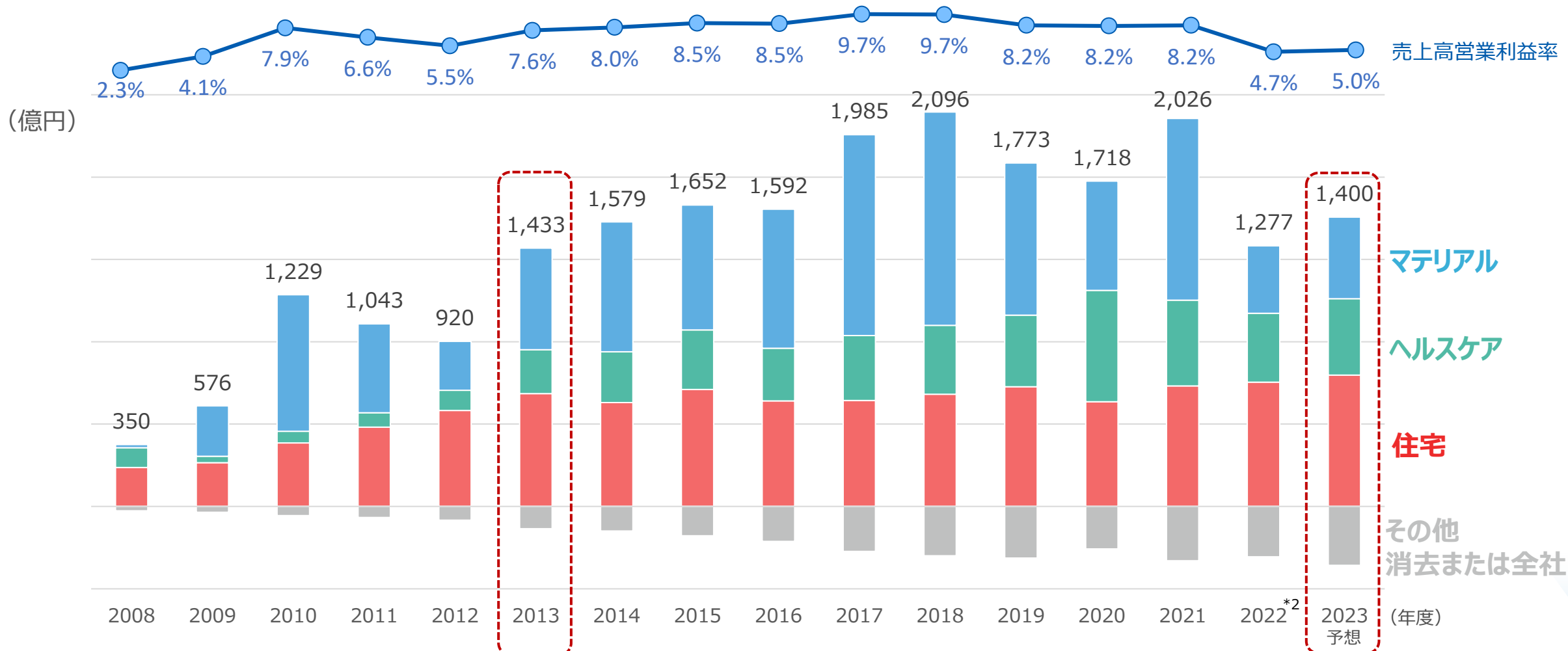
	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期予想
マテリアルセグメント	2,080	2,368	2,710	2,890	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	6,938
環境ソリューション事業	890	951	1,065	1,237	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,146	1,201	2,873
うち 基盤マテリアル事業	537	559	644	771	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	1,757
モビリティ&インダストリアル事業	391	556	716	768	754	765	807	896	925	997	940	923	918	960	1,973
ライフソリューション事業	799	859	927	883	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	2,085
うち デジタルソリューション事業	280	281	307	275	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	750
マテリアル共通	-0	3	2	2	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	7
住宅セグメント	1,478	1,848	1,702	1,771	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	4,804
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	4,594
建材	88	95	92	76	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	210
ヘルスケアセグメント	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	2,935
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	1,121
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	1,813
その他	36	35	30	33	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	84
合 計	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	14,761

(億円)

	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*1}	4Q ^{*1}	1Q	2Q	下期予想
マテリアルセグメント	80	110	209	230	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	318
環境ソリューション事業	19	44	82	130	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-11	60
うち 基盤マテリアル事業	-10	20	42	89	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	20
モビリティ&インダストリアル事業	-33	8	39	63	82	50	54	71	52	39	5	12	30	39	67
ライフインノベーション事業	82	66	90	55	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	188
うち デジタルソリューション事業	31	28	38	36	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	118
マテリアル共通	12	-8	-3	-18	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	2
住宅セグメント	106	209	164	152	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	444
住宅	98	196	155	148	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	433
建材	10	13	11	0	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	12
ヘルスケアセグメント	155	199	204	118	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	266
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	100
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	166
その他	8	10	9	15	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	9
消去又は全社	-48	-61	-58	-92	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-196
合 計	301	467	527	423	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	841

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

「住宅」の安定的な利益成長や、「ヘルスケア」の利益の拡大により、全社で同等の利益水準であった2013年度と比較して、2023年度の利益構造はレジリエント化が進んでいる。今後の利益成長には「マテリアル」の稼ぐ力が課題



*1 過年度の実績については、参考情報として現在の開示区分に簡便的に組み替えて表示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	主な事業
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ
		膜・システム
		合成ゴム・エラストマー
		基盤マテリアル 石化関連事業
	モビリティ&インダストリアル	自動車内装材
		エンジニアリング樹脂
		機能性コーティング
	ライフイノベーション	デジタルソリューション 電子材料
		電子部品
		コンフォートライフ 高機能マテリアル（添加剤他）
		繊維（衣料用途他）
		消費財
住宅	住宅	建築請負（戸建・集合）
		不動産（分譲マンション・賃貸管理）
		リフォーム
		海外住宅（北米・豪州）
	建材	建材
ヘルスケア	医薬・医療	医薬（医療用医薬品）
		医療（バイオプロセス・血液浄化）
	クリティカルケア	除細動器
		LifeVest（着用型自動除細動器）

- <組替後>と表示している箇所では、過年度の実績について2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

<お知らせ>

**2023年度第3四半期決算
決算発表予定日**

2024年2月7日（水）

「旭化成レポート2023」発行

https://www.asahi-kasei.com/jp/ir/library/asahikasei_report/

